学校番号	４０５

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「日本史Ａ　現代からの歴史」（東京書籍）						
副教材等	「図説　日本史通覧」（帝国書院）、「日本史Ａワークノート」（東京書籍）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史的事象に「なぜ」という視点を持つ。
・歴史の展開を、その推移や変化、因果関係等を考察する。
・日本の近現代の歴史を、国際社会と関連づけて考える。

２　学習の到達目標

・日本の近現代史における歴史の展開を様々な史料にもとづいて理解し、地理的条件や世界の歴史と関連づけ、歴史的思考力を養うとともに国際的な視点で物事を考える力も培う。
・近現代史を理解するための基礎となる基本的な地理的知識を身につける。
・現代日本の形成の歴史的過程を、世界史とも関連づけて理解する。
・現在の日本と世界との結びつきに着目し、歴史に対して主体的に探求し表現する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とする日本の歴史に対する関心を高め、関心を持つ課題を意欲的に追求するとともに、国家･社会の一員として、また国際社会に生きる国民としての役割を積極的に考えようとしている。	現代日本の諸課題を、歴史的観点から考察し、国際社会の変化と結びつけて理解し、歴史の過程や結果を適切に表現しようとしている。	日本の近現代史を中心とする史料を読み解く力を持ち、様々な史料から情報を選択し、歴史を多角的に理解することができる。	日本の現代史の基本的な事柄を、地理的条件や世界史とも関連付けて理解し、その知識を身につけている。
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート レポート	定期考査 ワークシート	定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	私たちの時代と歴史	・近現代学習のはじめに	○	○		○	a:身近なテーマを題材に、歴史に対する興味・関心を持ち、意欲的に追求しようとしている。 b:歴史や文化の推移について、その課程と結果を探求しようとしている。 c:ビジュアル的な史料・資料を読み解く。 d:近現代以前の日本の歴史についての概略的な知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
1学期	近代の日本と世界	・近代への始動 ・明治維新 ・近代国家の確立 ・対外関係の変化 ・政党政治の展開	○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	 ○ ○ 	○ ○ ○ ○	a:日本における近代国家の形成に関する興味・関心を高め、意欲的に追求しようとしている。 b:幕藩体制の崩壊と近代国家の形成を、歴史的な過程として関連づけて理解・表現しようとしている。 c:史料を読み解き、歴史の形成過程を具体的に理解しようとしている。 d:近代国家の形成過程を、世界史とも関連づけて理解している。	定期考査 小テスト ワークシート
2学期	近代産業の発展と両大戦をめぐる国際情勢	・近代産業の発展と社会運動の展開 ・国民生活の変化と文化 ・第一次世界大戦と日本 ・第二次世界大戦と日本	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ 	a:近代化の進展する日本の状況や、国際社会における日本の地位の変化に対する関心を持ち、意欲的に理解しようとしている。 b:両大戦において日本が果たした役割や因果関係を、多角的・多面的に探求しようとしている。 c:近代化や世界大戦について、史料・資料を読み取り把握している。 d:近代化や両大戦における日本を、国際情勢と関連付けて把握・理解している。	定期考査 ワークシート レポート

2学期	現代の日本と世界	・日本の再出発 ・独立後の政治と対外関係	 ○	○ ○	○	○ ○	a:第二次世界大戦後の日本の再出発と経済発展の過程について関心を持ち、意欲的に理解しようとしている。 b:戦後の日本の歴史の推移について、歴史的観点から正しく探求・理解しようとしている。 c:史料・資料を読み解き、戦後の日本の変化の過程を描くことができる。 d:戦後の日本と世界との関わりついて、正しい知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
3学期	現代日本の国民生活	・経済の発展と国民生活の変化	○	○	○		a:戦後の日本の国民生活について興味・関心を高め、意欲的に追求しようとしている。 b:戦後から現在に至る日本の形成過程を、歴史的観点から考察して表現しようとしている。 c:戦後日本の変化の過程について、史料・史料を主体的に選択し、多面的・多角的に理解している。 d:現在に至る日本の文化と生活について、国際社会と関連づけて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。